

# 弘前市長選挙公報

令和4年4月10日執行

弘前市選挙管理委員会



## 山内 無所属

たかし

変わらず弘前で  
生きるために。



山内たかしの政策(詳細)



山内たかしの政策(概要)

- 1 ゆとりを持って暮らせる弘前**  
この地域の賃金は全国的に見て低い水準にあります。小・中学校の給食費無償化は子育て支援の第一歩です。人口減少に歯止めをかけ、ゆとりと豊かさを感じて暮らせる弘前市をめざします。
- 2 経済的に自立した足腰の強い弘前**  
地元の中小零細企業を応援するとともに「農業振興、観光振興」を推進します。弘前は地域経済の弱さから若者の流出を招いています。私たちは、外部依存からの転換を図り自立した弘前をつくることで、足腰の強い弘前をめざします。
- 3 子どもや若者が希望を持てる弘前**  
子どもたちや若者は地域の希望です。けれども、自由に育つための環境は十分に保障されていません。弘前市では、若者が学びや生活のために、県外に出て行かざるを得ない現実があります。私たちは、奨学金返済の軽減などの施策により、若い世代がここで生きやすい弘前をつくれます。

- 4 地域の社会基盤を守り抜く弘前**  
過疎化などにより交通や医療福祉すら成り立たない地域があります。私たちは、生きていくために欠かせない地域の社会基盤を守り抜き、除排雪対策の強化など、市民にあたたかくて、優しい弘前市をつくれます。
- 5 誰ひとり見捨てない弘前**  
個人の属性や、押しつけの自己責任によって壁に阻まれるような社会ではいけません。すべての人が公正に扱われる地域に変えていかなければ未来はとざされてしまいます。私たちは当事者の声に向き合い、誰ひとり見捨てない弘前をめざします。
- 6 当たり前の日常を取り戻す弘前**  
繰り返される感染拡大の波に歯止めをかけるため、ワクチン接種の推進や、飲み薬の普及、医療機関・保健所への支援を拡充するとともに、十分な補償の継続を徹底します。

人口減少、少子高齢化に加えてコロナ禍によって、医療、福祉や交通等の社会基盤の維持だけではなく、弘前に生きる市民一人ひとりのいのちと暮らしが危機に瀕していると言っても過言ではありません。この難局を乗り越えるためには、停滞する市政の継続ではなく、過去の市政への逆戻りでもなく、市民の思いに込め、現状を変えていく新しい市政が今こそ必要です。

農業者も商工業者も飲食業者も子どもも高齢者も学生若者も社会的弱者も、誰一人取り残さない市政、市民一人ひとりが夢と希望を胸に、未来に進んでいける、ゆとりを持って暮らしていける市政への転換を実現します。

**プロフィール** 1955年、弘前市(旧相馬村)生まれ。県立弘前高校、立教大学経済学部卒業。1979年、青森県職員に。1995年、県議会議員に初当選。その後、立憲民主党青森県連を設立、現在は無所属で活動中

## 今こそ! 新しい弘前へ!! ~くらしを豊かにする「新しい弘前」づくり~



## 山本昇 51歳

のぼる

- 今すぐ取り組む3つの緊急対策**
- 1 市民が求めるコロナ対策の徹底**  
■ コロナ終息まで市民と共に歩むための市長報酬2割削減。  
■ 希望者全員無料のPCR検査及び迅速なワクチン接種体制の確立。
  - 2 地域経済の復興**  
■ 経済復興へ向けた市独自の支援制度創設と離職・復興支援制度の徹底。  
■ コロナ終息後を見据えたひろさき経済復興プランの策定。
  - 3 誰一人置き去りにしない社会の実現**  
■ 生活弱者の特性(低所得者・一人親世帯・障がい者・不登校児など)に応じた複数の専門窓口を新設し、支援を強化。  
■ 困窮世帯への市独自給付金制度を創設し支援を強化。
- +α 若者・学生の支援プログラムを作成**

- のうぎょう** 農業は、弘前を支えていく重要産業の一つです。私は6つの対策を軸に弘前の農家所得を増やします!
- みらい** これからの社会は大きく変わっていきます。変化を予測して今から準備をしていくことで、変化の一步先をいくまちに変わっていきます!
- うるおい** 文化やスポーツ、お祭りなどは、生活にうるおいを与えます。真に豊かなくらしができるまち、毎日の生活が楽しいまちに変わっていきます!
- しごと** 今あるしごとをもっと稼げるものに、新しいしごとを創ることも挑戦していく、そして地域内でお金がまわり、外部の影響に左右されない自立したまちに変えていきます!
- やすらぎ** 雪国でのくらしを知恵を出し合って少しでも楽に、人口が減っていくなかでも支え合いの輪を広げ、みんなの力でくらしやすいまちに変えていきます!
- 子ども** 子どもの可能性を活かし育っていく、将来に夢や希望をもてるまちにしたい、そして子育てしやすいまち、教育をうけさせたいまちに変えていきます!

《山本のぼる プロフィール》.....

■ 1970年(昭和45年)5月24日 弘前生まれ ■ 弘前市立桔梗野小学校卒業 / 弘前市立第四中学校卒業 / 青森県立弘前高校卒業 / 明治大学経営学部経営学科卒業 / 元青森県職員(道路課など) / 前弘前市副市長 ■ 父(80歳)、母(75歳)、妻、息子5人の3世代同居の大家族。父は認知症、三男は先天性の障がい児。

## 市民生活を第一に

### 「健康都市弘前」の実現



**桜田ひろしプロフィール**

1959年 弘前市生まれ 62歳  
弘前大学人文学部卒  
昭和58年弘前市役所入庁  
市民協働政策課長  
経営戦略部理事(部長級)兼政策推進課長  
観光振興部長を歴任  
平成30年 合併後の第4代弘前市長に就任

## 桜田ひろし

- 【くらし】**
- ①ごみ指定袋は導入しません。**  
● 指定袋で市民の負担を増やすことなく、市民との協働でごみ減量化
  - ②農業を振興します。**  
● 機械、荷捌き場、改植、ハウス等への支援  
● 農道整備  
● 担い手育成、補助労働力確保
  - ③中心市街地の見直しと改革を推進します。**  
● さまざまな視点からまちなかの賑わいを創出

- 【いのち】**
- ①「健康都市弘前」を実現します。**  
● 弘前大学との連携を一層強化し、短命を返上
  - ②健康づくりのまちなか拠点を整備します。**  
● 市立病院、旧第一大成小学校跡地を活用し、市民の健康づくり拠点を整備
  - ③健康医療産業を誘致します。**  
● 「健康都市弘前」の取組みを活かし、産業の誘致と雇用の促進を図る
  - ④子ども医療費を無償化します。**  
● 高校生までの子ども医療費を所得制限なしで無償化

- 【ひと】**
- ①小・中学生の学習環境を向上させます。**  
● 校舎の改築、長寿命化を推進  
● 改築に合わせて、学校を地域コミュニティの拠点化
  - ②学生・若者を支援します。**  
● 奨学金貸与額の増額、一部償還免除  
● 若者のUターンの積極的支援
  - ③町会活動を支援します。**  
● 事務費交付金の増額  
● 担い手育成

## 投票日 4月10日(日) 弘前市長選挙・弘前市議会議員補欠選挙

市政を決める選挙、ぜひ投票へ出かけましょう! 投票時間 午前7時から午後8時まで

一期日前投票・共通投票所のお知らせについては裏面をご覧ください (一部の投票所は午後6時まで)

この選挙公報は、候補者から提出された掲載文を、そのまま写真製版して印刷したものです。

# 弘前市長選挙公報

令和4年4月10日執行

弘前市選挙管理委員会

## プロフィール

- 1955(昭和30)年  
1月21日生まれ
- 弘前市立第二大成小学校
- 弘前市立第三中学校
- 弘前南高等学校を経て  
弘前大学農学部を卒業
- 1978(昭和53)年から  
弘前市役所  
(農林・土木行政に従事)  
道路維持課長・農林部長を経て  
弘前市副市長を6年間  
(平成24年～平成30年)  
務める
- 家族  
妻・晴美とねこ6匹(保護ねこ)と  
暮しています。  
子供・3人(女2人・男1人)は  
独立しています。
- スポーツ  
柔道・ウォーキング
- 好きな言葉  
今日のために今を生き、  
明日のために今日を生きる

## 活力ある・活気あふれる弘前に

### 7つの基本的政策

- ① 新型コロナウイルス対策の充実と危機管理体制の強化及び柔軟で機動的対応により、コロナ禍の終息による平穏な弘前
- ② 基幹産業である農林業の振興による実り多き弘前
- ③ 地域経済・雇用の好循環により活力ある弘前
- ④ 健康福祉の増進と子育て教育の充実により安心して暮らせる弘前
- ⑤ 社会インフラを維持強化して、災害に強く、安全に暮らせる弘前
- ⑥ 文化芸術の発展とスポーツの推進により活気ある弘前
- ⑦ 自然を大切に、人と人が繋がり、植物・ペットと共生する潤いのある弘前



私は弘前市の強みであるりんご産産業を始めとした、地域経済、地域産業などの好循環により活力ある、そして活気溢れる弘前市にしたいと思っています。

### 理念、目指す姿

市民が心穏やかに、生きがいを持ち、安心して暮らせる、活力ある、活気あふれる弘前の実現を目指します。



市民の声を市政へ

えびな 正樹

まさき

市政を決める選挙、ぜひ投票へ出かけましょう！

弘前市長選挙・弘前市議会議員補欠選挙

投票日 **4月10日(日)**

投票時間 午前7時から午後8時まで

(一部の投票所は午後6時まで)

- ・投票所入場券をなくしたときや忘れたときは、直接、投票所の係員にお申し出ください。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のためマスク着用や投票所出入口での手指消毒にご協力をお願いします。
- ・ご持参した筆記用具(鉛筆・シャープペンシルを推奨)もご利用できます。

忘れずに  
投票しよう



## 一期日前投票所

令和4年4月4日(月)～9日(土)まで

期日前 投票所	投票時間	
	弘前市役所 前川新館1階 市民ギャラリー 岩木庁舎 1階 相馬庁舎(相馬やすらぎ館) 交流コーナー 弘前市総合学習センター1階 中会議室 ヒロロスクエア多世代交流室2(ヒロロ3階)	8:30～20:00 8:30～18:00 10:00～20:00

※お住まいの地区に関わらず投票できます。

※期日前投票をする場合、当日投票に行けない理由について宣誓書の記載・提出が必要です。宣誓書は投票所入場券下部に記載欄があるほか、各期日前投票所でも用意しています。(事前に宣誓書を記載しておくことスムーズな受付が可能です)

## 共通投票所

令和4年4月10日(日) ※投票日当日

共通 投票所	投票時間
ヒロロスクエア多世代交流室2(ヒロロ3階)	9:00～20:00

※お住まいの地区に関わらず投票できます。

弘前市選挙管理委員会事務局 電話35-1129